資料 3

一次判定の統計モデルを検討するための調査設計の課題

施設・在宅の調査共通

項　目	課　題
「高齢者の心身等の状態（85 項目のアセスメント）」 「要介護認定等基準時間」	○一次判定の統計モデルの説明変数、目的変数をどう考えるか。 現行）説明変数：高齢者の心身等の状態、目的変数：手間のかかり度の指標としてのケア時間

施設の調査

項　目	課　題
心身等の状態のアセスメント ケアコード	○高齢者の心身等の状態に応じて手間のかかり度が相違するケアをどう捉えるか。 ○痴呆性の要介護者のアセスメントやケアコードをどう考えるか。
精神的・身体的負担感	○客観的・定量的に計測することが可能か。
調査対象施設・調査方法	○調査対象施設の選定方法をどうするか。調査は、他計式か自計式か。

在宅の調査

項　目	課　題
在宅の調査の基本的考え方	○在宅のケアの実態をベースとして介護報酬や支給限度額の設定をすることが可能か。 ・在宅の要介護者が現に受けているフォーマルケアの時間を計測して手間のかかり度を段階区分する場合、このケアは、利用可能な地域のサービス量や家族の意向によって利用日数・利用時間の制限や選択がされている可能性があり、その高齢者の心身等の状態に応じたものといえるか。 ・フォーマルケア以外の家族のケア時間を計測して、フォーマルケアの時間の不足を補おうとする場合、家族のケア時間は、介護技術や家族と要介護者との接触密度の差によってばらついている可能性があり、高齢者の心身等の状態に応じた手間のかかり度としてどう考えるべきか。 ・家事援助は、同居家族の有無や勤務状況、本人や家族の要望等によって利用がばらついている可能性があり、高齢者の心身等の状態に応じた手間のかかり度としてどう考えるべきか。 ・ハードウェア環境を説明変数、そこで行われるケアの時間を目的変数とする統計モデルを構築しようとしても、データがばらついているのではないか。
調査対象者・調査方法	○調査対象者の選定方法をどうするか。調査は、他計式か自計式か。